

おかだ耕一

後援会会報
No.62-t
2014.4.15
(平成26年)

http://www.ko1.org/ E-mail:okada@ko1.org

発行/おかだ耕一後援会事務局 〒471-0809 豊田市宝来町4-758-141 TEL/090-1752-7529(番号通知のみ受信)



豊田市をもっと安心・安全で快適なまちに!

厳しい冬も終わり、ようやく心地よい季節になってきました。日ごろは議員活動、後援会活動に対し、格別なるご理解、ご支援を賜りありがとうございます。

さて、3月議会が、2月21日から3月19日まで開催され、平成26年度当初予算をはじめ、上程議案のすべてが可決されました。一般質問は話題性のあるテーマを取り上げました。今後も皆様からご意見、ご指導をいただきながら、より良いまちづくりの一助となれるよう、しっかり汗をかいて働いてまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

なお、本紙以外に美里・益富地区版も別途発行しています。関心がございます方は、P4の連絡先までご一報ください。

豊田市議会議員 岡田耕一

おかだ耕一議員 3月議会 一般質問項目

- 1) 市職員手当の不正受給 地区版に掲載
- 2) エコフルタウンへのクスノキ移植 本紙 P3に掲載

第7回 親睦マレットゴルフ大会のご案内

おかだ耕一後援会では今年は2回のマレットゴルフ大会を計画しています。そこで春の大会を下記のとおり開催致します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

- と き／平成26年5月27(火)〈予備日:5月29日(木)〉
13時30分より16時頃まで(受付13時〜)
- と ころ／前田公園マレットゴルフ場
- 参 加 費／300円(参加賞あり) *お茶はご持参ください
- 申込期間／平成26年4月14日(月)~5月10日(土)
(参加費を添えてお申し込みください)
- お申込・問合せ先／ 足立 郁夫 89-8772

とよた市民の会
無料法律相談のご案内
~行政相談もどうぞ~

- 【開催日】5月10日(土)・6月14(土)
7月12日(土)
- 【時 間】いずれも午後1時30分~3時
- 【場 所】豊田産業文化センター4階
- お問合せ 小林おさむ 80-5323

弁護士に無料で相談できます。完全予約制といたしますのでご了承下さい。ご希望の方は前日までにご連絡ください。

おかだ耕一議員 3月議会 主な議案への対応

賛成

豊田市墓地等の経営の許可等に関する条例の新設

本議案は、44名全会一致で可決

本条例は、墓地等の安定的な経営確保、近隣住民とのトラブル回避を目的に書類等の審査規定を定めるとともに近隣住民への周知・説明、協議を義務付けたもの。本市では平成23年度に1件、住民との紛争があり、私は、それを平成23年12月議会で取り上げた。そして、豊田市墓地、埋葬等に関する法律施行細則に不備があることを指摘した。本条例は、この紛争を教訓に、再発防止策として、具現化したものと高く評価し、賛成する。

賛成

住居手当の持ち家分の支給を廃止する豊田市職員給与条例の改正

本議案は、44名全会一致で可決

住居手当の持ち家分支給の段階的な廃止は、平成21年度の人事院勧告に従い、労働組合との協議の結果、決定された。この改正により、26年度分は、25年度比で約3,800万円の削減、27年度分からは、約7,600万円の削減が見込まれる。私は、「市民にとって、理解が得られない職員手当は、認めるべきではない。特に住居手当の持ち家分は廃止すべき」と継続的に主張をしてきた。遅きに失した感はあるが、労使双方の英断を評価し、賛成する。

おかだ耕一議員に異議あり！

掲載意見:「リゾート安曇野」は、若い世代が利用したくてもできない施設であり、若いうちは、支える側とすべき。おかだ議員が主張する指定保養所制度は、誰も利用しないのでは？

おかだ意見:市の保養施設である「リゾート安曇野」は、本来、勤労者のための施設です。その証拠に高齢者や市民全般を対象とする場合、他の自治体では、福祉部や市民部が所管しますが、「リゾート安曇野」は、設置以来、一貫して産業部所管です。ですから、現役(勤労者)世代が利用したくてもできない施設は、制度を改めるべきだと思います。そして、豊田市の場合、**高齢者専用施設**としては、**寿楽荘(小原地区)**と**豊寿園**があります。

また、現役(勤労者)世代は、PRして利用率が高まるものではなく、制度の抜本的な改革なくして利用率は向上しません。現在は、時間の融通の利く方ばかりが、年に何度も利用しています。

これには、私は疑問を持っています。平日利用は制限する必要はありませんが、休前日、繁忙期については、年に2日までなどの利用制限は、あっても良いと思っています。かつては、抽選だった予約も、現在は、予約受付開始日に、グループの何名かで一斉に電話をかけ、予約を確保するという話は良く聞きます。これができるのも予約開始日である1日が休みの方となります。圧倒的に現役(勤労者)世代は不利です。制度不備のために、利用したいのにできないのなら、世代にかかわらず、納税者の権利として、改善すべきと考えます。

ですから、1人利用するごとに約1万円を税負担し、全市民のうち、4%未満の方々しか利用できない現状を改善するための1つの方法として、私は税金投入せず、全国の民間施設と契約し、利用者へ2千円程度の補助(税負担)という提案をしました。これなら同じ予算で5倍の市民が全国で楽しめます。

事実、この問題を、現役世代の方にお話するとほぼ100%共感してもらえます。逆に、「リゾート安曇野」を頻繁に利用されている先輩方の多くは、私の考えに否定的です。でもその中の何割かの方は、利用者が偏っているし、安過ぎると共感してくださる先輩も一定数おられました。

その後の展開:市から支払う「リゾート安曇野」の管理運営企業への平成26年度の管理費(指定管理料)は、約2,000万円減額しました。そして、サービスの向上策として、予約時の利便性の向上を目的とした「インターネット予約」、「受付時間の延長」、「複数の料理プランの設定」、「クレジットカード決済」の導入、「女性やファミリー向けの新規バスツアー」なども提案されました。私の主張が経費削減とサービス向上につながったと確信しています。



ここが聞きたい！ 議員？ 豊田市政？ 市民の疑問におかだ議員がお答えします

広報とよたの発行は月2回も必要ですか？

Q: 広報とよたは、月に2回も発行されていますが、無駄に感じます。月に1回でも十分だと思います。月1回の発行にすれば、経費も削減できると思いますが、いかがでしょうか？

おかだ耕一 「広報とよた」は、現在、1回あたり、約16万部発行、年間印刷費は、約9,000万円です。

そこで、発行頻度について、市として、どのような見解を持っているか、所管課である市政発信課に話を聞きました。

「広報とよたは、税金や医療・福祉などのお知らせのほか、各種講座の案内など市民の皆様にお知らせすべきことを掲載。細やかな行政サービスが求められる今日、事業も増加し、掲載内容を今以上に削減することは困難。仮に月1回発行の場合では、1号あたりのページ数が増え、情報量が多くなり過ぎ、読みづらくなる。1回に減らしても大幅な印刷コスト削減は期待できない。そして、タイムリーな情報提供がしにくくなる。また、今後も掲載内容を厳選すると同時に経費削減に努める

ので月2回発行のご理解をお願いします」ということでした。ただ、月1回発行の自治体もあると聞きますので、私も調査研究したいと思います。

参考までに、平成21年度からは紙質を下げ、紙面を28ページに固定、カラーページの精査等により、前年度比で約8,200万円の経費が削減されました。

また、私は、昭和24年6月の創刊号以来、継続して一社が独占してきた「広報とよた」の印刷を「公平性の観点から問題がある。市内業者で競争させるべき」と何度も議会で取り上げた結果、平成22年度に、初めて提案型の競争入札で業者選定を行い、現在、新たな印刷業者が印刷・発行に携わっています。その結果、約3,000万円の経費削減が図られました。今後も様々な提案を継続します。ご意見ありがとうございました。

皆さんは、どう思われますか？ご意見をお待ちしています。

1.エコフルタウンへのクスノキ移植 (答弁者は福嶋企画政策部長、加藤都市整備部長)

テーマ選定理由：豊田市駅前通り北地区再開発事業において、地元が伐採やむなしと判断した喜多町ちびっこ広場のクスノキを市は1,000万円かけて移植する方針を出した。しかし、本当に根付くのか、返還する必要がある借地に移植を行う点について、私は疑問に思う。そこで、移植の意義、必要性を質した。

クスノキは誰のもの？



現時点及び移植後も含め、喜多町ちびっこ広場のクスノキ所有者は誰か。

植えられた経緯等は明らかではないが、この土地の所有者が豊田市であることから、クスノキも豊田市の所有と判断しており、移植後も同様であると判断している。

答弁

なぜ移植するの？



1,000万円の費用をかけてまで移植を行う必要性は。また、市長がクスノキ移植を決定した理由は。



喜多町ちびっこ広場のクスノキ

とよたエコフルタウンでは、本市の森林エリアを象徴する高木を植え、豊かな自然の恩恵を受けていることに感謝し、木を活かしたツリークライミングなどのイベントも計画。

第二期整備では、シンボルとなる木が必要で、当初は高木を購入する予定で500万円の予算を計上。しかし、高木の購入が困難であると分かった。その後、高木の調査を行った結果、以下のことが判明。

- ①再開発事業で伐採が決まっていた喜多町ちびっこ広場のクスノキ2本のうち1本は、樹木医の診断から根付く可能性が高い
- ②移植先へは搬送距離も短く、経路が確保できる
- ③エコフルタウン整備と再開発事業のスケジュールが整合する

移植先の土地所有者からも、将来の活用を含め同意が得られ、総合的に判断し決断した。

答弁

「ツリークライミングエリア」にクスノキは6月に移植予定

H26年4月26日グランドオープン
「とよたエコフルタウン」



土地所有者には、伐採しない約束を！

移植後、永続的にクスノキを管理できる地元の体制づくりをすべきと考える。また、土地所有者には、クスノキの伐採はしないという担保が必要だ。市の見解、対応は。



クスノキの移植に関しては、募金活動などのイベントを通して広く市民の理解と参画を進め、移植したクスノキへの関心を高めていく。

移植後には、クスノキを活用したツリークライミングなどのイベントにより、自然の大切さについて伝え、末永く見守っていただけるような仕掛けを進めていく。

土地所有者である「あいち豊田農業協同組合」に対し、土地賃貸借契約終了後の土地利用計画の中で、移植する樹木の保存を含めた対応に配慮いただくよう文書で依頼した。その結果、「市の取組の趣旨を十分理解し共感できるため、誠意を持って対応する」との文書回答を得た。

答弁

おかだ意見 過去、県が行った久澄橋架替事業の際に移植したエノキと同じ様に枯れることがないよう、市には、適切な移植、管理を求める。

また、市は土地所有者からの「誠意をもって対応する」との回答で満足するのではなく、「永続的にクスノキが管理・保護」されることをしっかり書面で確約を得ることを市に対して求める。



「第7回親睦バス旅行」にご参加ありがとうございました。

2月2、3日にバス4台、149名のご参加をいただき、伊豆白浜温泉への1泊旅行を行いました。ご参加いただきました皆さんには、おなかいっぱいのイチゴ狩りや列車「伊豆急リゾート21」からの車窓の眺めなど、十分に楽しんでいただけたと思います。来年以降も引き続き、楽しいバス旅行を企画してまいります。万障繰り合わせてのご参加を心よりお待ちしております。 **おかだ耕一後援会会長 伊藤 哲也**

伊豆白浜温泉での思い出



※ 次期市議会議員選挙（H27年4月予定）における定数が45人に決定しました

おかだ耕一後援会収支報告

平成25年1月1日～12月31日までの収支報告です
平成26年3月5日 県選挙管理委員会報告済

収入の部		支出の部	
収入項目	金額(円)	支出項目	金額(円)
24年度からの繰越額	50,273	備品・消耗品費	38,880
寄附	1,701,000	機関紙の郵送費	590,054
内訳 個人(のべ96名)	(501,000)	機関紙の作成費	468,237
岡田 耕一	(1,200,000)		
事業 会費収入	3,049,000	事務所費	407,510
事務所駐車場賃貸料	83,000	光熱水費	43,447
預金利子	37	イベント費	3,123,425
		その他	49,958
収入合計	4,883,310	支出合計	4,721,511
		26年度への繰越額	161,799

多くの皆様からのご寄附、ありがとうございました

おかだ耕一を支えるカンパは下記へお願いいたします

三菱東京UFJ銀行 豊田支店 (普通) 1113815 おかだ耕一後援会

郵便振替 00820-9-205061 おかだ耕一後援会
《他行からの振込口座 9900 089(当座) 0205061 オカダコウイチコウエンカイ》

カンパいただいた方は通帳にはお名前しか表示されません。お礼を申し上げたい
ため、ご一報くださるようお願いいたします。政治資金規正法により、**おかだ耕一
後援会は、外国籍の方や企業・労働組合等の団体からの寄附は受けられません。**

《連絡先》

TEL/090-1752-7529

FAX/88-9194

(こーいち)
<http://www.ko1.org/>

HP **おかだ耕一** **検索**

E-mail:okada@ko1.org

市政に関するさまざまな
疑問、質問、要望、情報等
お気軽にお寄せください。